

帰化植物にはどんな種類があるの？

外国から日本に入ってきて、野性化した植物を帰化植物といいます。入ってくる方法は貿易船のコンテナや旅行者の荷物などについて入ってくるなど、人の活動によるものがほとんどです。それが日本で繁殖をして、次第に広がってきました。座光寺にはどのくらいの帰化植物があるのでしょうか。

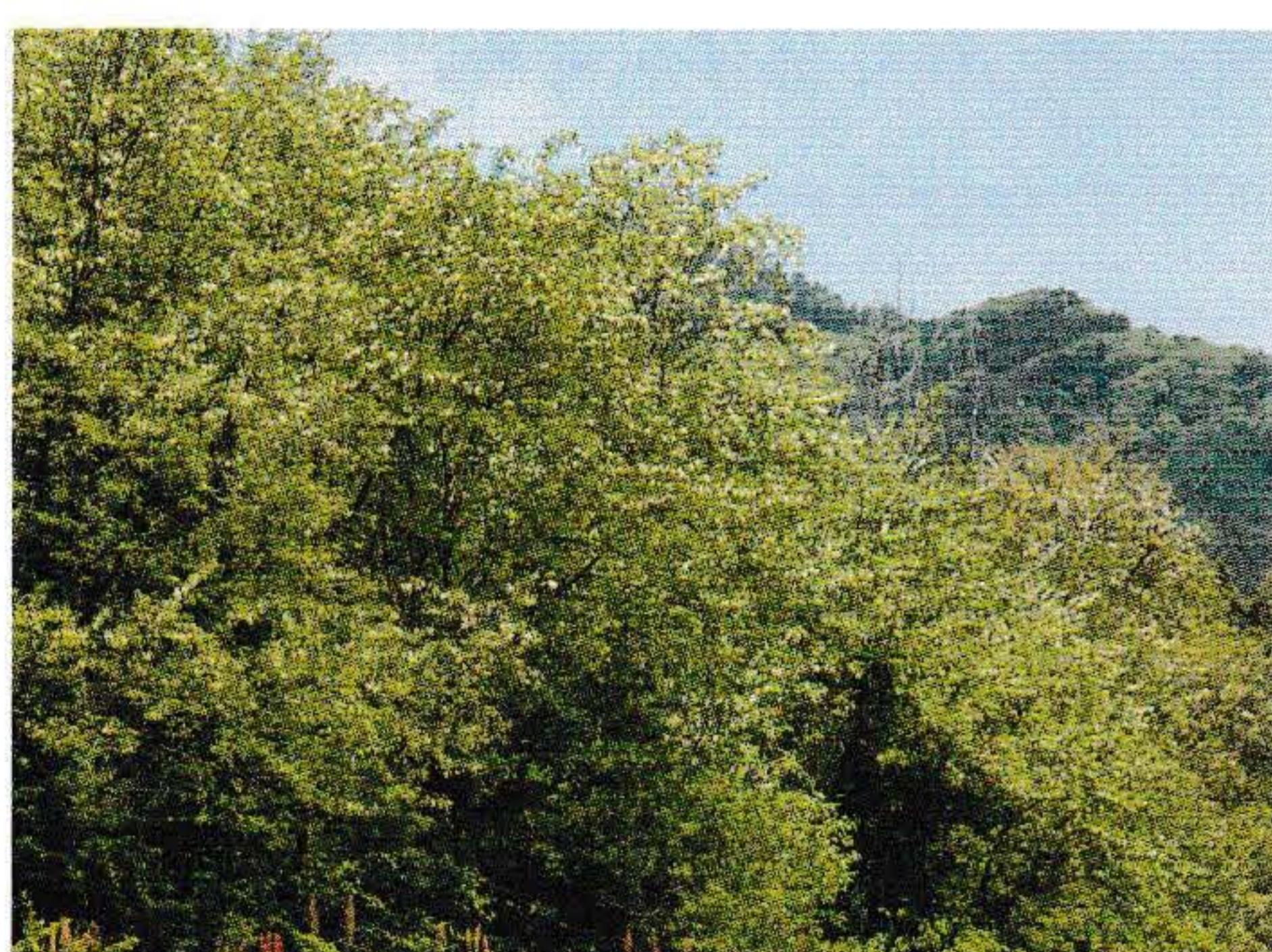
帰化植物の種類数

座光寺の帰化植物を調べた例はありませんが、下伊那地方について松川町の木下進さんが調べたものがあります。それによると約229種の帰化植物があります。木下さんは座光寺河原の天竜川堤防で調べたら48%が帰化種だったそうです。

また、座光寺の虫媒花を調べた研究があります。それによると、蜜を集めるハナバチは蜜源を在来植物から半分しか得ていません。あとは帰化植物でした。

日本の花になった帰化種

私たちの身の周りに普通にあって、すっかり生活にとけこみ、帰化植物と気づかない種類がいくつかあります。



土曾川沿いに咲くニセアカシア
ミツバチの蜜源として重視されています。

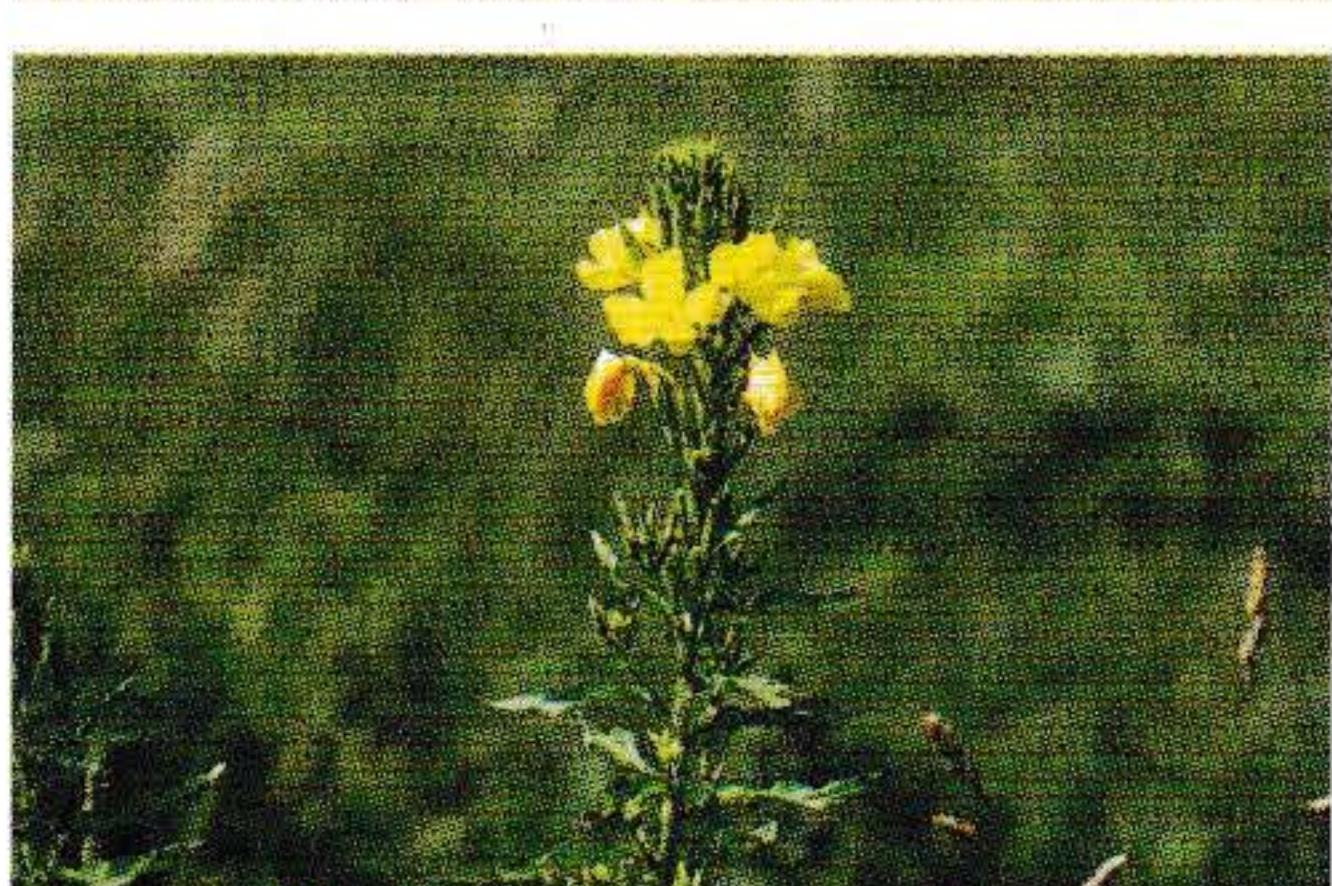
次の種類はその代表です。
ニセアカシア、
オオイヌノフグリ、
ヒメジョオン、
メマツヨイ、
シロツメクサ、
アカツメクサ等



オオイヌノフグリ



シロツメクサ



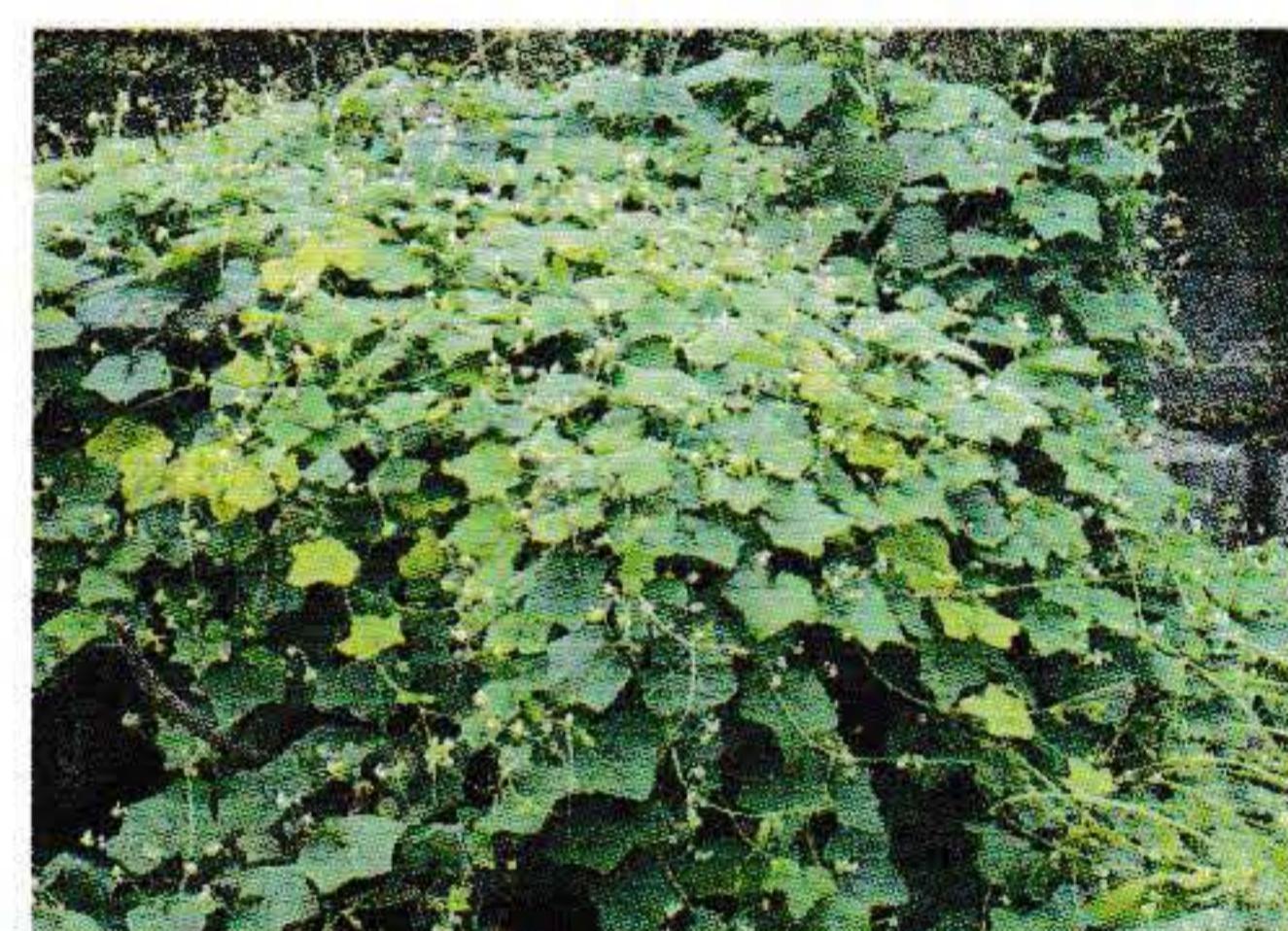
メマツヨイ



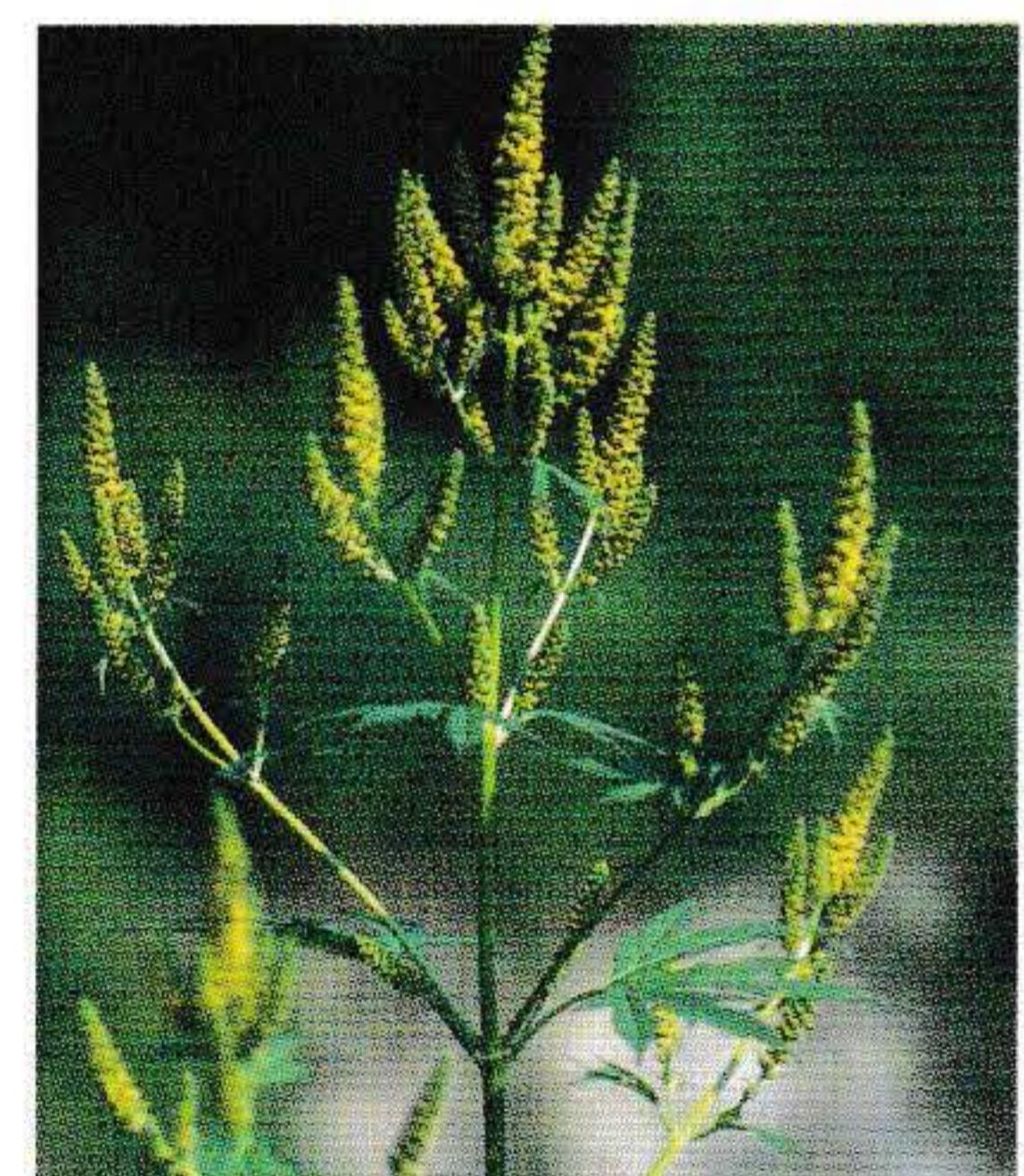
ヒメジョオン

困った帰化種

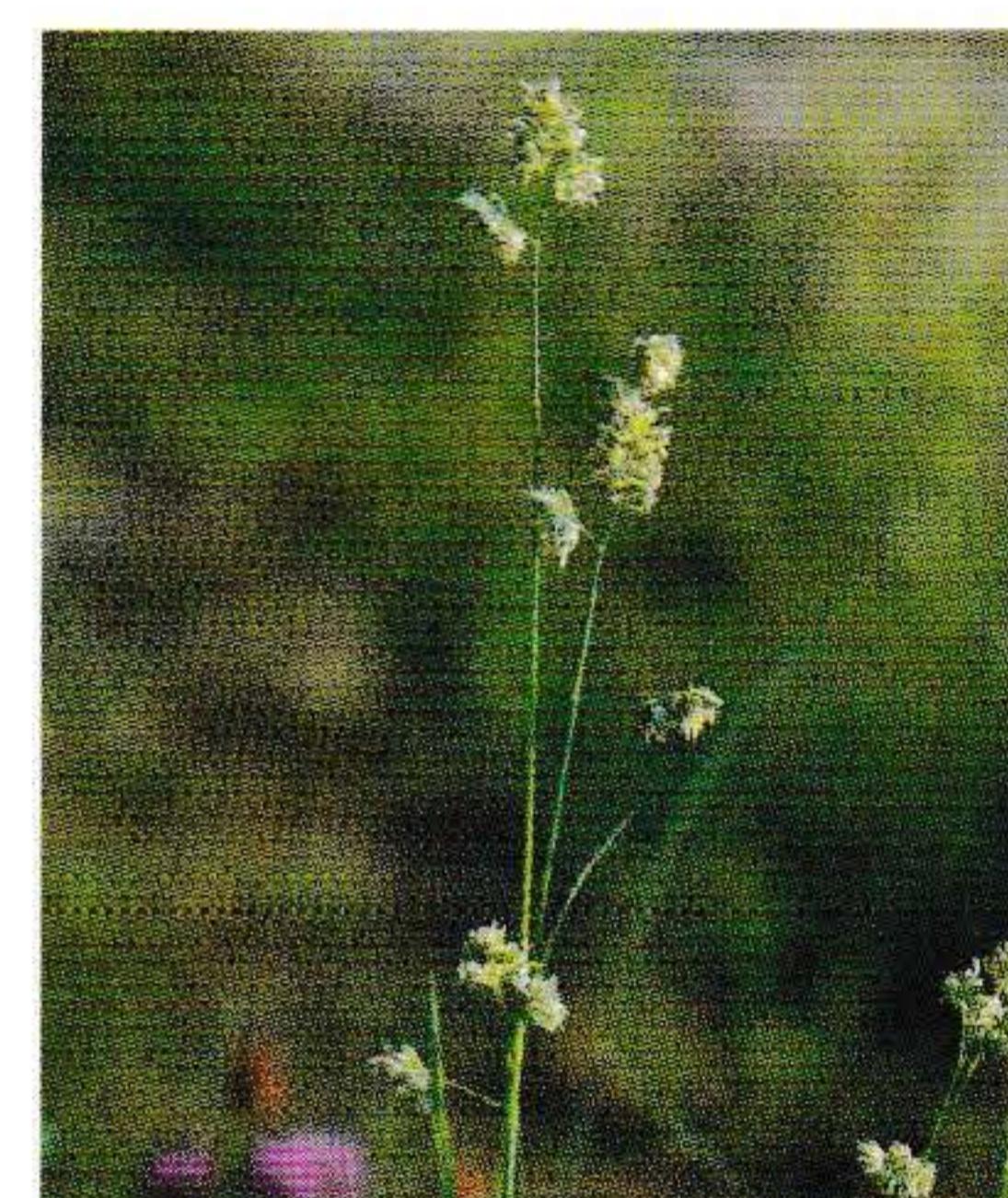
畑の雑草や路傍に生える種類には帰化植物がたくさんあります。その中には私たちの生活や環境に良くない影響を与えていたる種類があります。そのうちの一部を紹介しましょう。



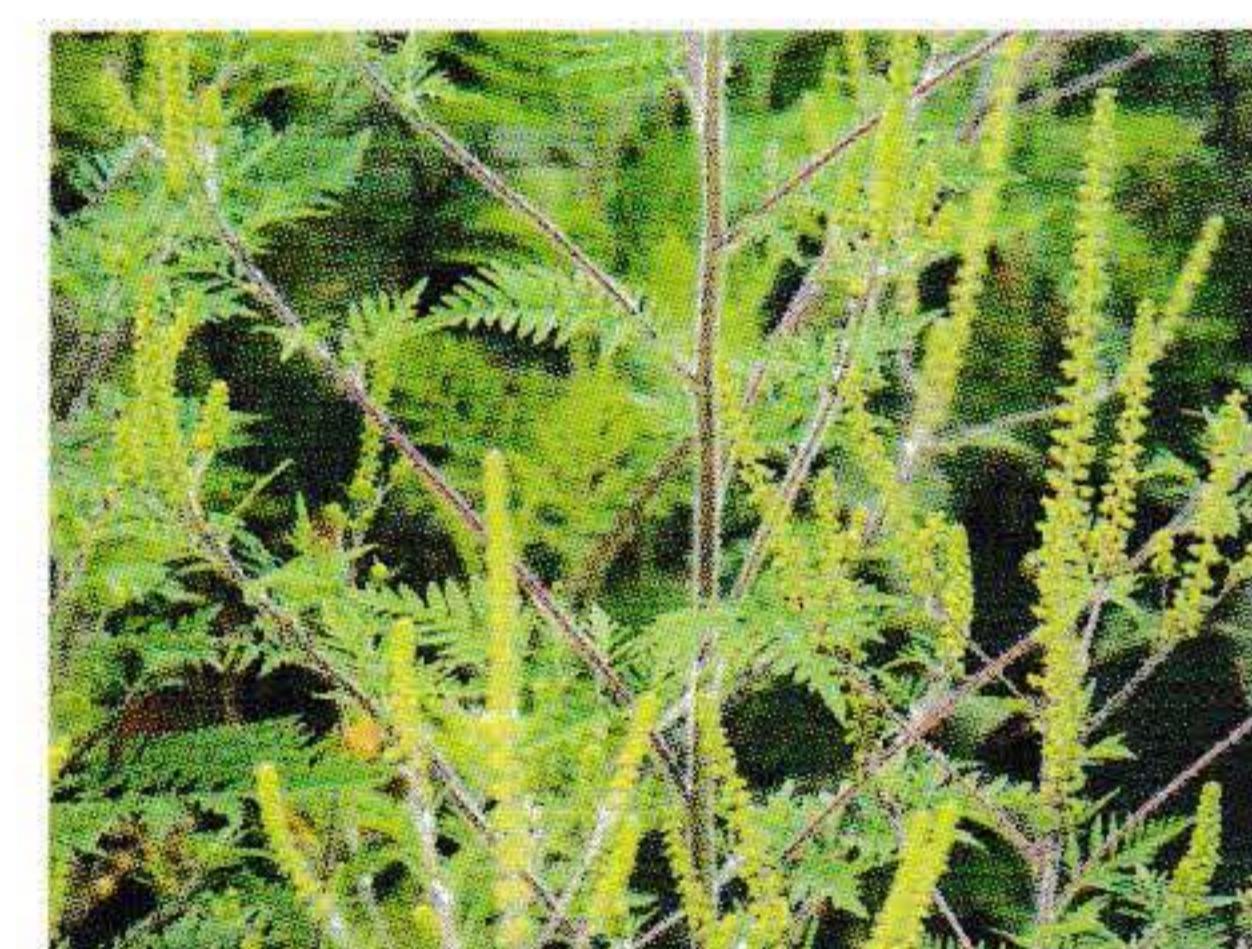
アレチウリ
天竜川の河川敷、支流、空き地に繁茂して、他の草や木を覆い、枯らしてしまいます。
北米原産。



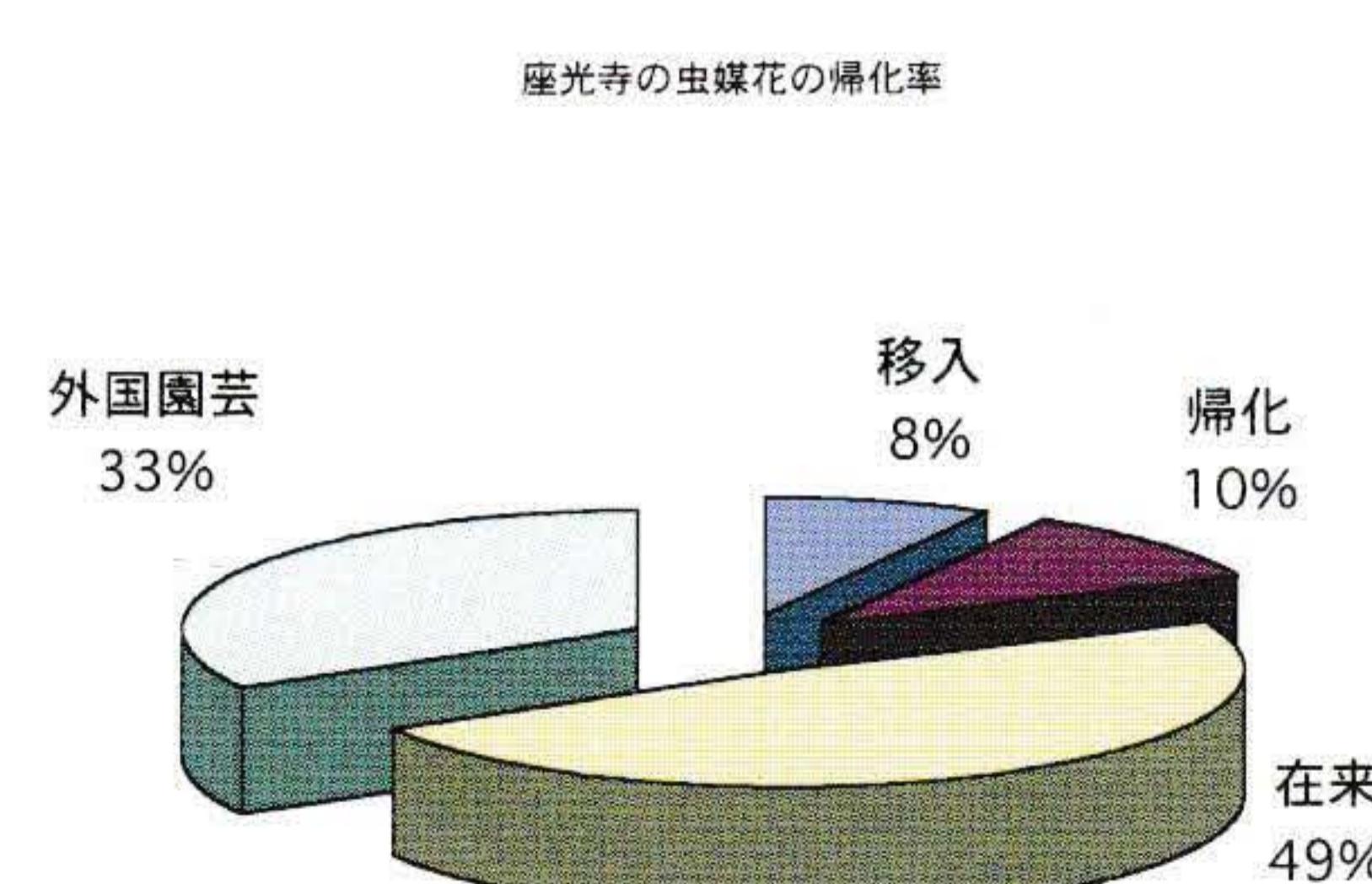
オオブタクサ
空き地、河原に多い。
初秋の花粉症の原因。
北米原産。



カモガヤ
路傍に生えるイネ科。
牧草として北米から持ち込まれました。初夏の花粉症の原因。



ブタクサ
空き地、路傍に生える。
初秋の花粉症の原因。北米原産。



座光寺の虫媒花(花粉を虫に運んでもらう)の在来種の割合(1994):
在来は半分しかない。移入は国内原産で人が持ち込んだ種類のこと。外国園芸はチューリップなど原産が外国の園芸種。

(小林正明)

ちたい 水田地帯の植物 ～姿を消していく土手のススキ～

田んぼの土手に生育する植物はいま大きく変化しようとしています。昔からあった草が無くなったり、外国から来た植物に生活の場所を奪われようとしています。そんな植物の中には、キキヨウやスズサイコのように絶滅危惧種に指定されたものもあります。

いなさく 稻作と共に生息してきた土手の植物

田んぼの土手にはたくさんの植物が生育しています。これらの植物の多くは稻作の歴史とともに人間と深いつながりを持ってきた植物です。弥生時代になって稻作が始まると田んぼが造られ、その土手に生える植物は周囲の野山から入り込んだものが中心だったでしょう。それらが当時の農業の仕方に生活を合わせて、適応したものが土手の植物だと考えられます。例えば田んぼの土手は春と秋には草刈くさかりをします。だから野山の草ほど丈が高くならず、草むらの中には適度に日光が射し込みます。また極端に乾燥きょくたんしてしまうこともありません。このような人間が創った環境に生活の仕方が合った植物が少しずつ増えて、田んぼの土手特有の植物社会をつくりました。

その植物が変わり始めた

昔の土手は秋になると白いススキの穂が出て風にゆれる景色が普通でした。その光景がいまの座光寺の下段に



広がる田んぼには見られません。その理由は農業の機械化が進み、大型の水田に造り換えるための圃場整備が行なわれたためです。

新しく造られた土手には丈が高くなって稻が日影になる植物や、株が張り茎が硬くて刈りづらかったり、刺があるなど管理に厄介な土手植物は避けられ、扱い易い植物が残されていきました。また昔の植物に代わってはびこってきたのが外国から入ってきた帰化植物です。

ススキも昔の生活の中ではいろいろなところで役立つ植物だったのですが、今は扱いの悪いものになってしまい平地の水田から姿を消しました。でも土曾川や南大島川の谷間に上の方にある棚田にはまだススキの土手があ

ります。ススキの根は土手の崩れるのをしっかりと守っています。そういう場所は昔から伊那谷の自然に生育してきた在来種と呼ばれる植物が多く育つ場所になっています。例えば カワラナデシコ オミナエシ リンドウなどが生えています。



下段の大きな水田の土手。植物の種類は少ない。



土曾川沿いの棚田

昔からの土手で、草は種類が多く変化に富む（宮崎：田んぼの左は土曾川）



帰化植物のイヌキイモ



棚田の土手のカワラナデシコ